

令和6年度官民協働事業レビューにおける意見・評価

事業番号: 8月25日(日)⑤ 担当部局・担当課名: 教育委員会生涯学習・文化財室

事業名	とやま親学び推進事業	評価結果	現行どおり・拡充
-----	------------	------	----------

事業レビューにおいて発言のあった主な意見

【委員の意見】

- ・親学びの内容に、周りの人に対するSOSの出し方や、周りの協力を得る方法も親のスキルの一つとして盛り込んでも良いと思った。
- ・あらゆる人が親学び講座を受けられる環境をつくるべき。オンラインでの受講や、最低でもアーカイブを見られるようにして、全員が必ず受講するぐらいの目標を立ててやるべきではないか。
- ・この取組みは富山県だけでなく、色々なところで行われるべき。それを国が担うのか、都道府県同士が協力して行うのか、企業に支援してもらうのか、色々なやり方はあると思うが、ぜひフロントランナーとして声を上げてほしい。

【県民評価者の意見】

- ・親学びノートの、子育てに悩む人・ご飯を作る人はお母さんで、ご飯を食べる人・子どもと遊ぶ人はお父さんという描き方に、ジェンダーバイアスを感じた。こういう役割分担でいいのかという問題提起も内容に含めてほしい。
- ・推進リーダーの負担軽減も考えたほうが良い。
- ・参加者数が多いのは良いことだが、そこから漏れてしまっている人にこそ親学びの機会が与えられるべき。

県民評価者の評価シートによる評価

				県民評価者総数	18
評価区分 (考え方)	行政の関与 不要 (役割を終えたので事業を廃止)	役割分担 見直し (国または市町村で実施)	抜本的改善 (例: 学習プログラムの構成など、やり方を見直す)	一部改善 (例: 参加できていない人へのアプローチ)	現行どおり・拡充 (例: 推進リーダーの報酬単価を上げる)
	0	1	0	2	15 (現行5、拡充10)
県民評価者の主なコメント	評価結果と 同じ評価	【現行どおり・拡充】 ・父親も母親も出席しやすい環境にするのが一番大事だと思う。 ・親になることへの不安、しつけ等で色々な悩みがあると思うので、他の人と思いを共有できる場があるのはいいと思う。 ・LINEやYouTubeで学習プログラムの内容を見られるようにするなど、誰でも・いつでも・どこでもプログラムを受けられると良い。 ・推進リーダー・スーパーリーダーの定期的な研修を実施して、常に質を高めるべき。			
		【一部改善】 ・親学びノートは毎年学校で配布されているが、特に説明もされないので、今年度の重点項目など、使い方の説明があればいい。 ・ひとり親、LGBTQ、外国籍の人についての学習も取り入れてほしい。偏見やイメージ、先入観で人を傷つけることがあることも親から学んでほしい。 【役割分担見直し】 ・少子化が全国的に進んでおり、他の県でも必要な事業だと思うので、国が実施するよう働きかけると良い。			

【参考】委員による評価

				委員総数	4
評価区分	行政の関与 不要	役割分担 見直し	抜本的改善	一部改善	現行どおり・拡充
	0	0	0	1	3 (現行0、拡充3)